

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

最初のISS構成要素打上げから1782日経過しました
第7次長期滞在クルーのISS滞在は162日経過しました

ISS動向

第7次長期滞在クルーのマレンチェンコとルー両宇宙飛行士は、科学実験を続けると共に、第8次長期滞在クルーの到着に備えて準備を行いました。

第8次長期滞在クルーであるマイケル・フォールとアレクサンダー・カレリ両宇宙飛行士は、欧州宇宙機関(ESA)のペドロ・デューク宇宙飛行士と共に、10月18日にソユーズ宇宙船で打ち上げられる予定です。

ルー宇宙飛行士は、デューク宇宙飛行士と共に行う予定のタンパク質結晶成長実験の準備を行いました。

マレンチェンコ宇宙飛行士は、ロシアモジュールでいくつかの研究や実験を行いました。この実験の目的は、微小重力が人間に及ぼす影響を調査する生物医学的な研究、雷雨活動の観測、海洋生物学、宇宙からの人災予測などを行うことです。

第7次長期滞在クルーとデューク宇宙飛行士は、10月28日にISSを離れる予定です。



ロボットアームの操作訓練を行うマレンチェンコ宇宙飛行士



箸を使って食事するルー宇宙飛行士



ソユーズ宇宙船の中でチェックリストを調べるルー宇宙飛行士



マイケル・フォール宇宙飛行士 (第8次長期滞在クルー)



アレクサンダー・カレリ宇宙飛行士 (第8次長期滞在クルー)



ペドロ・デューク宇宙飛行士 (タクシークルー)

“お知らせ”

新機関発足から1週間

2003年10月1日(水)に宇宙航空研究開発機構(JAXA)が誕生してから約1週間が経とうとしています。

「NASDA宇宙ステーション・きぼう広報情報センターホームページ」も、「JAXA宇宙ステーション・きぼう広報情報センターホームページ」と改め、JAXAの有人宇宙開発、宇宙環境利用や国際宇宙ステーション計画などについて情報を提供していきますので、引き続き、ご愛読いただきますよう、よろしくお願いします。

なお、新URL、<http://iss.sfo.jaxa.jp/> のsfoとは、宇宙基幹システム本部の英語名称、“Office of Space Flight and Operations”の英略称です。

お勧め書籍紹介



日本のロケット開発の歴史を網羅する「新版日本ロケット物語」が元宇宙開発事業団理事長始め、JAXA関係者等によって1年半の編集期間を経て、9月末に発売されました。

ロケット年表には、モデルロケット世界選手権に参加した日本の大学生の記録も記載されています。

日本の最初のロケットはいつ頃開発され、どのようなものだったのか、そして現在のロケット開発とはどのようなものか、NASDA、宇宙科学研究所(ISAS)など、日本の宇宙開発機関の歴史も含めてロケット開発の歴史に興味のある方はご覧になってはいかがでしょうか。

誠文堂新光社、価格:3,500円(ISBN: 4416203055)



JAXAホームページ
(<http://www.jaxa.jp/>)



宇宙ステーション・きぼう広報情報センターホームページ



問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/> Eメール kibo-koho@jaxa.jp

「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。